



# QUATTRO

Professional 4-Channel Club Mixer with dual Audio interface for Serato DJ

## User Manual (JP)

## 安全にご使用いただくために

1. 使用前に本書を必ずお読みください。
2. 本書は必ず保管しておいてください。
3. 本書に記されている警告を順守してご使用ください。
4. 本書に従ってご使用ください。
5. 本機に水をかけたり、濡らしたりしないでください。
6. 掃除には乾いた布のみをご使用ください。
7. 設置の際は通風孔を塞がないようご注意ください。付属品等は本書の指示に従って取り付けてください。
8. ヒーター、ストーブなど熱源の近くでは使用しないでください。
9. 電源プラグは根本まで確実に差し込んでご使用ください。
10. 電源コードは加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりなど、破損するようなことはしないでください。破損した場合、火災や感電の原因になる恐れがあります。
11. 製造元が指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
12. 製造元が指定したカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルのみを使用するか、本機とセットで販売されているものをご使用ください。カートを使用するときは、転倒による怪我がないように注意してください。
13. 長期間使用しないときや雷が鳴っているときは、本機の電源コードを抜いてください。
14. 電源コードやプラグが破損したり、液体がこぼれたり、物が本機に落ちたり、本機を落としたり、本機が雨や湿気にさらされ、正常に動作しない場合は販売元にお問い合わせください。
15. 【警告】火災や感電の危険を減らすために、本機を雨や湿気にさらさないでください。
16. 電源スイッチは電源接続器として機能しているため、必ず操作できるようにしておいてください。
17. 通風孔を新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆われないようにしてください。
18. ろうそくのような裸火は本機の上に置かないでください。
19. 直射日光や、異常に温度が高くなる可能性がある場所には設置しないでください。故障・火災の原因になる恐れがあります。
20. 本機に水滴が飛ばないようにご使用ください。水の入ったコップ、花瓶などは本機の上に置かないでください。

### 警告

火災や感電の危険を減らすため、本機を雨や湿気にさらさないでください。また、花瓶などの液体で満たされたものは本機の上に置かないでください。

### 注意

感電の危険を減らすため、カバーを取り外さないでください。内部にはお客様自身で修理できる部品はありません。販売元にもみ修理のご依頼等をしてください。



**CAUTION**  
RISK OF ELECTRIC SHOCK  
DO NOT OPEN



こちらのマークはユーザーに警告を示すためのものです。  
操作方法とメンテナンス（保守）の解説が付属の取扱説明書に記載されています。



こちらのマークは、本機内部の絶縁されていない「危険な電圧」の存在を警告することを目的としています。

### 注意

感電防止のため、電源プラグを根本まで確実に差し込んでご使用ください。プラグの露出を防げない場合、延長コード、またはその他のコンセントを使用しないでください。

## アクセサリとドライバのインストール

本機に同梱されている以下の付属品をご確認ください。

取扱説明書・保証書（本誌） x 1	USB ケーブル x 1	AC コード x 1
-------------------	--------------	------------

### ドライバのインストール

Mixars QUATTROはMac OS X準拠のデバイスです。Windowsの場合、専用のドライバが必要です。  
serato DJで使用する前に、ドライバのインストールが完了していることを確認してください。

#### Mac

ドライバは必要ありません。

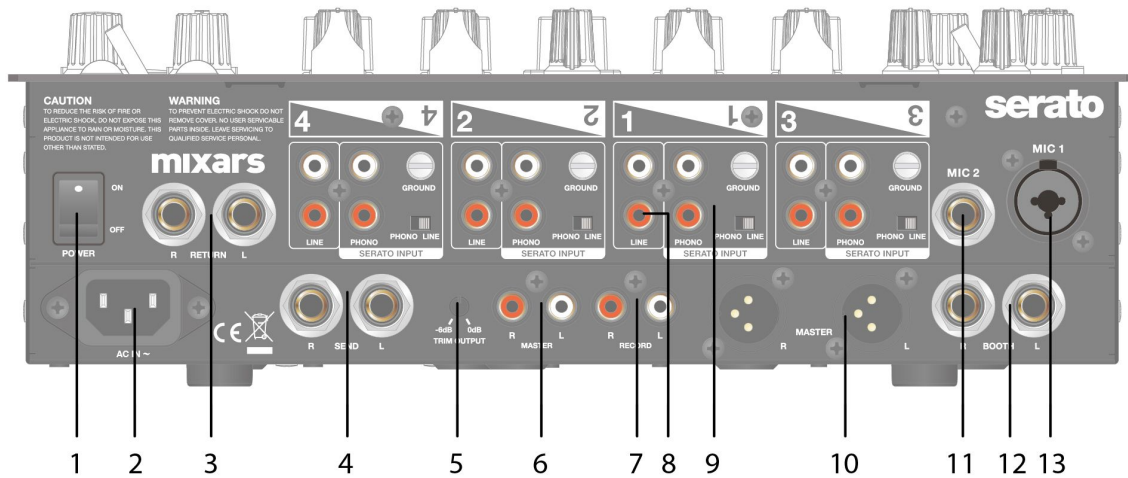
#### Windows

当社のウェブサイトからドライバをダウンロードしてください。 [www.mixars.com](http://www.mixars.com)

.exeファイルをダブルクリックしてインストールを開始し、画面の指示に従います。  
Windowsに認識されるために、インストール後にQUATTROを再接続する必要がある場合があります。

# コントロールと機能

## リアパネル



### 1. 電源オン/オフスイッチ

本機の電源をオンまたはオフにします。

### 2. AC IN 端子

付属の AC コード（電源ケーブル）を接続します。

### 3. FX Return 入力：TRS 端子

FX Return 入力端子。

### 4. FX Send 出力：TRS 端子

FX Send の出力端子。

### 5. TRIM OUTPUT

出力レベルを 0dB から -6dB の範囲で調整します。

### 6. セカンダリマスター出力：RCA 端子

サブの RCA マスター出力端子です（アンバランス）。《MASTER》ツマミで制御します。

### 7. REC 出力端子：RCA 端子

録音用の RCA 出力端子です（アンバランス）。

### 8. サブの LINE 入力端子：RCA 端子

各チャンネルのサブ用の LINE 入力端子です。

### 9. メインの PHONO/LINE 入力端子

各チャンネルのメインの PHONO / LINE 入力端子です。使用する機器（PHONO または LINE）に応じて、専用の《PHONO / LINE》スイッチを切り替えて適切な設定をしてください。Serato DJ で使用するには、Serato 専用コントロールバイナル/CD にこの入力を使用します。

### 10. マスター出力：バランス XLR 端子

メインバランス XLR 出力端子です。《MASTER》ツマミで制御します。

### 11. マイク入力端子 2：TRS 端子

TRS マイク入力。《ソーススイッチ》（48 を参照）でデッキ 4 に《MIC2》を選択して制御します。

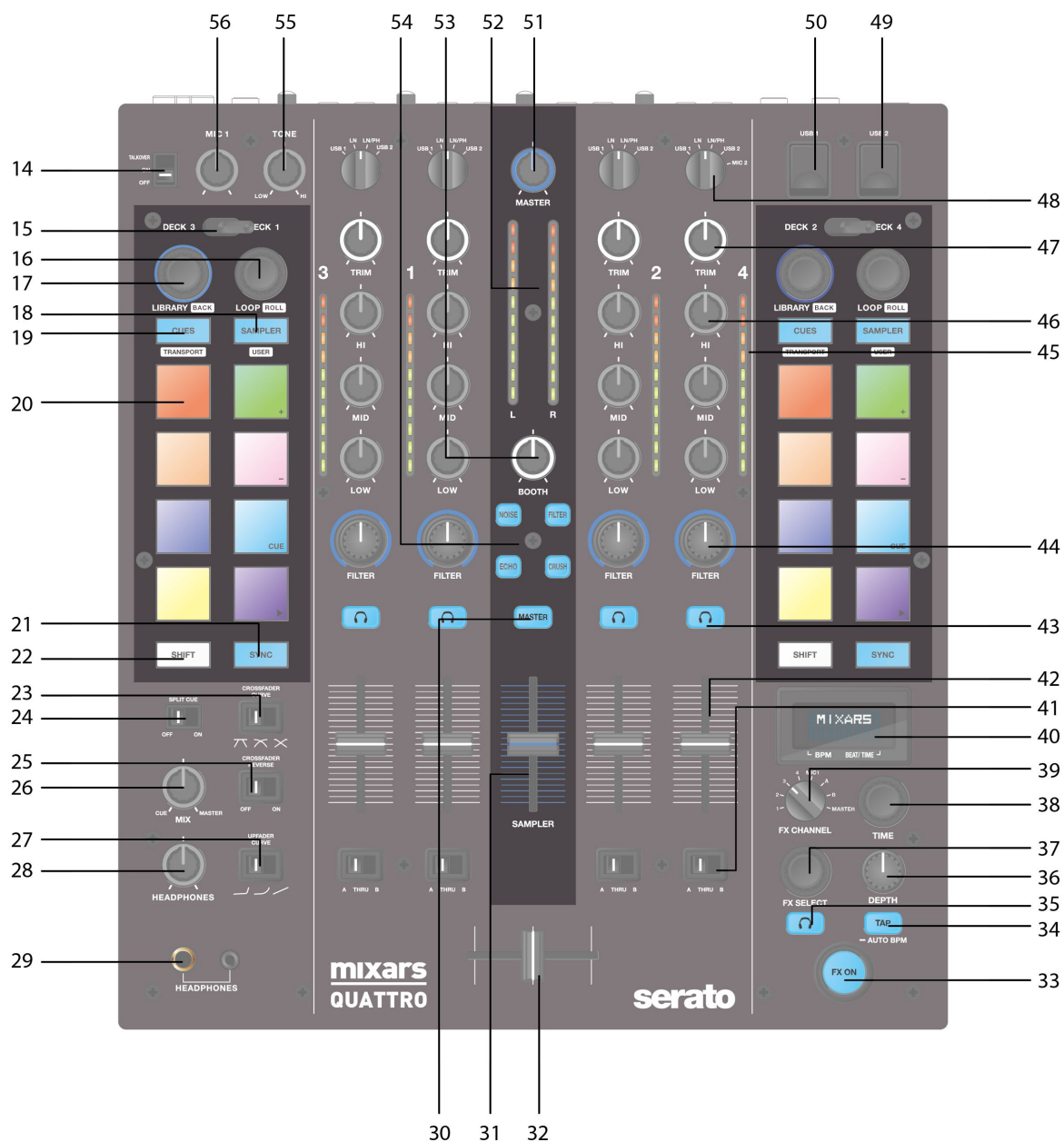
### 12. ブース出力：TRS 端子

サブの TRS 出力端子です（バランス）。《BOOTH》ツマミで制御します。

### 13. マイク入力端子

XLR / TRS コンボ・マイク入力端子です。《MIC1》ツマミで制御します。

## トップパネル



### 14. マイクトークオーバー/オン/オフスイッチ

マイク1のトークオーバー、オン/オフ切り替えスイッチ。

### 15. デッキ選択スイッチ

対応するMIDIコントロールエリアの[右/左]と[デッキ1/3とデッキ2/4]を選択します。

### 16. ループ/ループロール

Serato DJではツマミを押ししたり回したりして、ループとループロールの機能を制御します。

ループロール機能を制御するには、《SHIFT》ボタン (22を参照) を押し続けます。

### 17. ライブラリ、ロードコントロール

#### Load:

《LOAD》ボタンを押して、対応するデッキに楽曲をロードします。

#### Library:

《LIBRARY》ツマミを回してライブラリをスクロールします。ツマミを押して次の階層を表示します。《SHIFT》を押しながら押すと、前の階層に戻ります。

### 18. サンプラーボタン

パフォーマンスパッドをサンプラーモードに切り替えます。

《SHIFT》と同時に押すと、ユーザーモードに切り替えます。

## 19. CUESボタン

パフォーマンスパッドをCUESモードに切り替えます。

《SHIFT》と同時に押すと、トランスポートモードに切り替えます。

## 20. パフォーマンスパッド

Serato DJでキューポイント、サンプル、トランスポートコントロール、またはその他のユーザー定義機能をトリガーするために使用します。

## 21. Syncボタン

《SYNC》ボタンを押してトラックを別のトラックに同期できます。

《SHIFT》を押しながら《SYNC》を押して機能をオフにします。

## 22. SHIFTボタン

押しながら他のボタンを操作することで、ボタンに割り振られた別の機能を操作できます。

## 23. クロスフェーダー フェーダーカーブスイッチ

クロスフェーダーカーブをハード（左）からソフト（右）に調整します。

## 24. スプリットキュー オン/オフスイッチ

オンにすると、ヘッドフォン出力が分割されます。一方のチャンネルはマスター出力、他方のチャンネルは《CUE》ボタン（43を参照）で選択されたチャンネルが出力されます。

## 25. クロスフェーダー リバーススイッチ

クロスフェーダーの左右のチャンネルの割当を反転します。

## 26. ヘッドフォンCUE / MASTER MIX

ヘッドフォンへ出力されるCUEとマスター出力を調整します。

## 27. チャンネルフェーダー カーブスイッチ

チャンネルフェーダーのカーブ調整を切り替えるスイッチです。

## 28. ヘッドフォンレベル

ヘッドフォンの音量を調整します。

## 29. ヘッドフォン出力コネクタ

ヘッドフォンを接続するためのTRSおよびミニジャックヘッドフォンジャック。

## 30. MASTER ON CUEスイッチ

MASTER出力をヘッドフォンから出力します。

## 31. サンプラーボリューム

Serato DJ内のサンプラーの音量レベルを制御します。

## 32. クロスフェーダー

左、右、または両方のチャンネルの出力を切り替えます。

《スイッチでチャンネルを割り当てます》（41を参照）

## 33. FX ONスイッチ

マスター出力へのFXを有効/無効にします。

## 34. TAPボタン

タップしてFXに手動BPMを入力します。3秒間押し続けると、自動BPM検出が有効になります。

## 35. FX CUEスイッチ

ヘッドフォンキュー出力へのFXを有効/無効にします。

## 36. FX DEPTHパラメーターツマミ

ツマミを回して対応するエフェクトの強さを調整します。

## 37. FX SELECTエンコーダー

回してエフェクトを選び、押して選択します。

## 38. FX TIMEパラメーターツマミ

選択したエフェクトのタイム/ビートパラメーターを調整します。押すことで、タイムとビートを切り替えます。

## 39. FXチャンネルセレクター

エフェクトをかけたいチャンネルを選択します。

## 40. 内蔵FXディスプレイ

内蔵FXに関するさまざまな情報を表示します。

## 41. チャンネル割り当てスイッチ

対応するチャンネルをクロスフェーダーの左または右チャンネルに割り当てます。

「THRU」を選択すると、チャンネル信号は、直接マスター出力に送られます。

## 42. チャンネルフェーダー

対応するチャンネルの音量レベルを調整します。

## 43. CUEのオン/オフ

キュー信号にチャンネルを割り当てます。

## 44. フィルターFXツマミ

選択したエフェクトのパラメーター/レベルを調整します。

## 45. チャンネルレベルメーター

対応するチャンネルレベル信号を表示します。

## 46. チャンネルEQ

対応するチャンネルのイコライザー設定を調整します。

#### 47. チャンネルトリム

対応するチャンネルの音量を調整します。

#### 48. ソーススイッチ

対応するチャンネルで制御する入力ソースを選択します。

PHONO / LINE (9 を参照)、LINE (8 を参照)、Serato-USB1 (50 を参照) または Serato-USB2 (49 を参照) を切り替えます。デッキ 4 には、MIC 2 の追加入力ソースがあります。

#### 49. USB 2 コネクタ

Serato DJを使用するため、付属のUSBケーブルを使用して、コンピューターを接続します。使用するにはUSBデバイス、《ソーススイッチ》(48 を参照) を使用してUSB2 を選択します。

#### 50. USB 1 コネクタ

Serato DJを使用するため、付属のUSBケーブルを使用して、コンピューターを接続します。使用するにはUSBデバイス、《ソーススイッチ》(48 を参照) を使用してUSB1 を選択します。

#### 51. マスターボリューム

マスターレベル信号の音量を調整します。

#### 52. マスターレベルメーター

マスターレベル信号を表示します。

#### 53. ブースボリューム

《BOOTH》出力のレベルを調整します。

#### 54. Sound Texture FX選択スイッチ

フィルター、ノイズ、クラッシュ、エコー効果を切り替えます。

《FXツマミでパラメーターを制御します。》(44 を参照)

#### 55. マイク 1 トーンコントロール

マイク 1 のトーンを調整します。

#### 56. マイク 1 レベルコントロール

マイク 1 のレベルを調整します。

## 内蔵FXコントロールと機能

QUATTROは、DJパフォーマンスにオリジナリティを表現するため、BPM同期FX機能を搭載しています。

15 種類のFXがあります。

FILTER	FLANGER	DELAY	ECHO	REVERB
TRANSFORMER	PITCH	LOOP ROLL	REVERSE ROLL	NOISE
BIT CRUSHER	GATE	TAPE DELAY	VINYL BRAKE	SEND/RETURN

Quattroのディスプレイには、FXに関するさまざまな情報が表示されます。



#### 1. FXの種類

現在選択されているFXが表示されます。FXエンコーダーを回して別のFXに変更し、FX名が点滅します。エンコーダーを押してFXを選択すると、表示名の点滅が停止します。

#### 2. BPM

現在のBPMが表示されます。TAPボタンをビートにあわせて押して、手動BPMを入力できます。TAPボタンを3秒間押ししてAuto BPMを有効にすると、ディスプレイに2秒間「AUTO BPM」と表示されます。

#### 3. BEAT/TIMEパラメーター

現在のBEAT/TIMEパラメーターが表示されます。TIMEエンコーダーを押して選択を切り替えます。

TIMEおよびDEPTHツマミは、各FXで異なるパラメーターを制御します。

エフェクト	TIME操作	DEPTH操作
FILTER	ビート範囲：1/4 から 64/1 時間範囲：10msから 32000ms (9999ms以上、「a. bs」形式が使用されます。 例：「32. 0s」 32000ms)	Depth (Dry/Wet) 0-100%
FLANGER	ビート範囲：1/4 から 64/1 時間範囲：10msから 32000ms (9999ms以上、「a. bs」形式が使用されます。 例：「32. 0s」 32000ms)	Depth (Dry/Wet) 0-100%
DELAY	ビート範囲：1/8 から 16/1 時間範囲：1msから 4000ms	Depth (Dry/Wet) 0-100%
ECHO	ビート範囲：1/8 から 16/1 時間範囲：1msから 4000ms	Depth (Dry/Wet) 0-100%
REVERB	BPM非同期。ディスプレイに調整幅 0%-100%が表示されます。	Depth (Dry/Wet) 0-100%
TRANSFORMER	ビート範囲：1/16 から 16/1 時間範囲：10msから 16000ms (9999ms以上、「a. bs」形式が使用されます。 例：「16. 0s」 16000ms)	Depth (Dry/Wet) 0-100%
PITCH	BPM非同期。パラメーター範囲は、-50%から 100%	Wet 100%固定
LOOP ROLL	ビート範囲：1/16 から 16/1 時間範囲：1msから 4000ms	Wet 100%固定
REVERSE ROLL	ビート範囲：1/16 から 16/1 時間範囲：1msから 4000ms	Wet 100%固定
NOISE	ビート範囲：1/4 から 64/1 時間範囲：10msから 32000ms (9999ms以上、「a. bs」形式が使用されます。 例：「32. 0s」 32000ms)	Depth (Dry/Wet) 0-100%
BIT CRUSHER	BPM非同期。ディスプレイに調整幅 -100%から 100%が表示されます。	Depth (Dry/Wet) 0-100%
GATE	BPM非同期。パラメーター範囲は、0%から 100%。	Depth (Dry/Wet) 0-100%
TAPE DELAY	BPM非同期。ディスプレイに調整幅 -100%から 100%が表示されます。	Depth (Dry/Wet) 0-100%
VINYL BRAKE	BPM非同期。調整幅 10msから 4000ms	ブレークの手動制御。 時計回りに回して、ブレーク時間を短縮します。 反時計回りに回すと、ブレーク時間が長くなり、ブレークFXが再び有効になります。
SEND/RETURN	TIME/BEATに「---」を表示	Depth (Dry/Wet) 0-100%

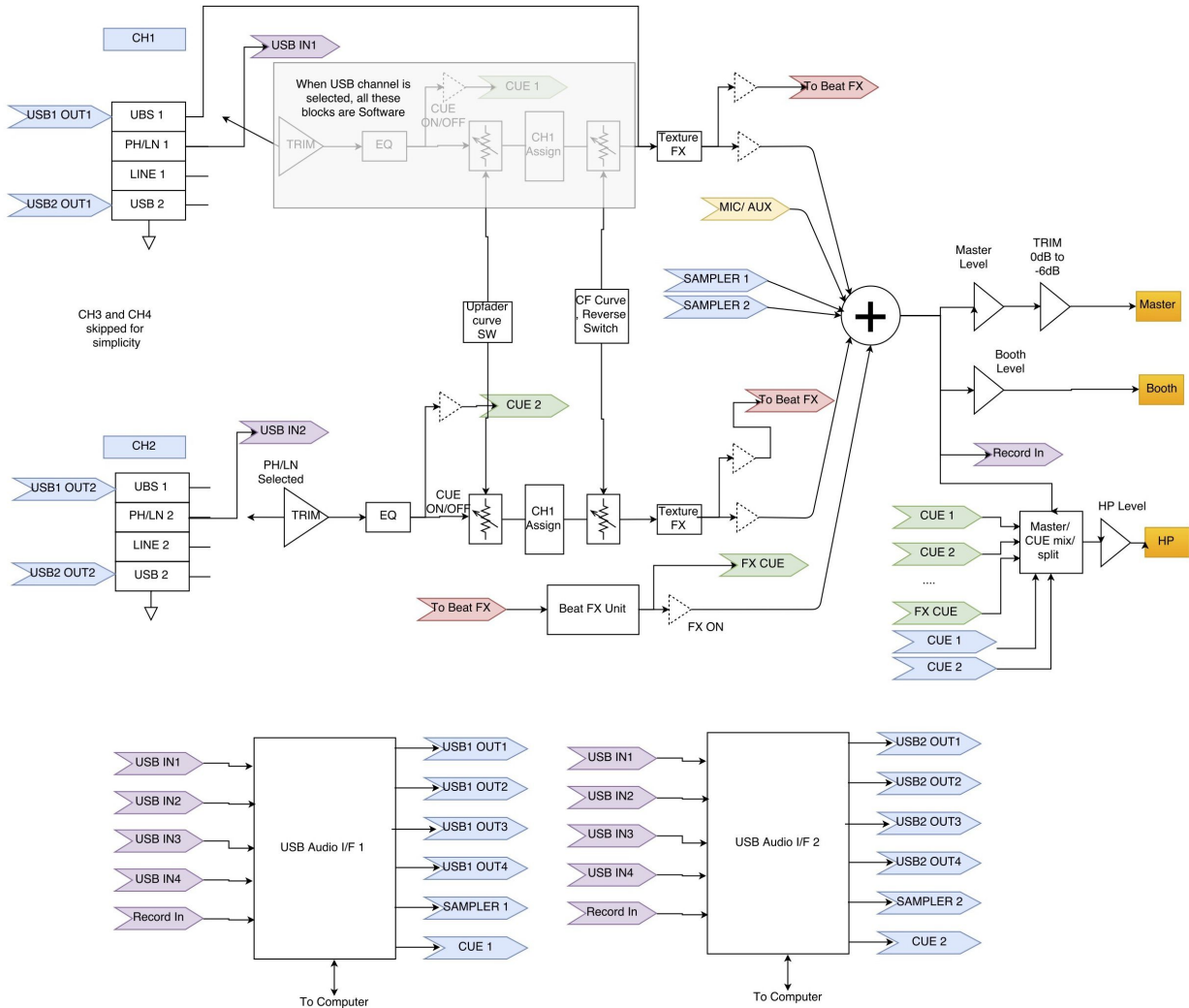


# オーディオルーティング

QUATTROには、Seratoルーティングと非Seratoルーティングの2つのオーディオルーティング設定があります。

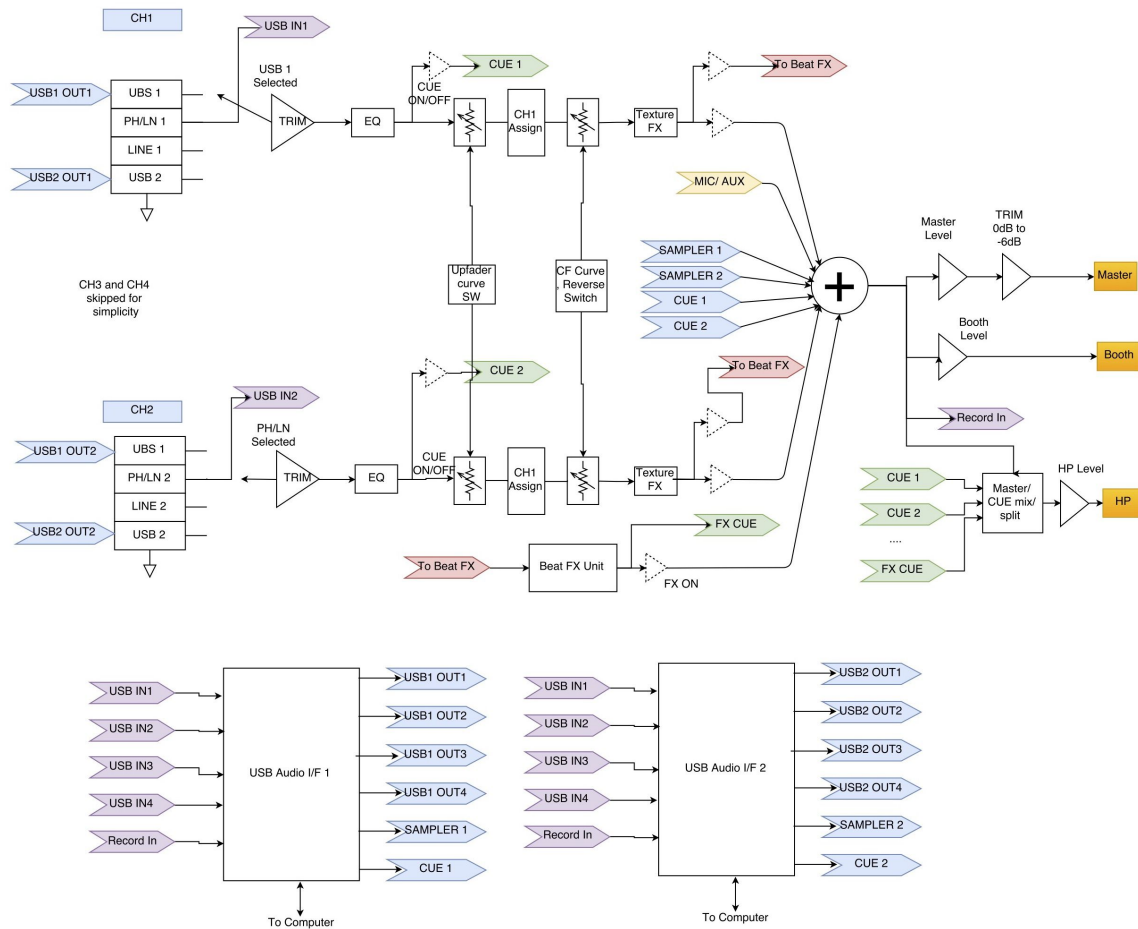
Seratoモードのルーティングでは、QUATTROはコントローラーとして機能し、ほとんどのミキシングはSerato DJで行われます。Serato DJからポストクロスフェーダーFXを使用できます。

## ■Seratoモードのオーディオルーティング：



非Seratoモードルーティングでは、QUATTROは典型的な外部ハードウェアミキサーとして機能します。

■非Seratoモードのオーディオルーターティング：



2つのオーディオルーターティングを切り替える方法はいくつかあります。

1. Serato DJソフトウェアを開いて起動すると、接続されているQUATTROが自動的にSeratoモードのルーティングになります。
2. MASTERボタンを押し続け、QUATTROの電源を入れます。現在選択されているモードがディスプレイに表示されます。FXツマミを回して目的のオーディオルーターティングを選択し、押し決定します。
3. QUATTROの電源を入れて使用しているときに、2つのSHIFTボタンを5秒間押し続けます。
4. システムユーティリティメニューがディスプレイに表示されます。FXツマミを使用して、オーディオルーターティングセクションで、目的のオーディオルーターティングを選択します。

オーディオインターフェイスは、割り当てのある10入力12出力のインターフェイスです。

CH	Inputs	Outputs
1	Deck 1 in L (DVS)	Deck 1 out L
2	Deck 1 in R (DVS)	Deck 1 out R
3	Deck 2 in L (DVS)	Deck 2 out L
4	Deck 2 in R (DVS)	Deck 2 out R
5	Deck 3 in L (DVS)	Deck 3 out L
6	Deck 3 in R (DVS)	Deck 3 out R
7	Deck 4 in L (DVS)	Deck 4 out L
8	Deck 4 in R (DVS)	Deck 4 out R
9	Record in L	CUE out L
10	Record in R	CUE out R
11	NA	Sampler out L
12	NA	Sampler out R
13	NA	NA
14	NA	NA
15	NA	NA
16	NA	NA

## システムユーティリティメニュー

システムユーティリティメニューを表示するには、QUATTROが動作しているときに2つのSHIFTボタンを押し続けます。メニューがディスプレイに表示されます。FXツマミを使用して別のオプションを参照し、ツマミを押して各種設定を選択および変更します。

### 1. 音声ルーティング

Seratoと非Serato Audioルーティングを選択します

### 2. フェーダーのパワー

チャンネルフェーダーとクロスフェーダーの設定を選択します。USB1、USB2の設定も更新されます。

### 3. ファームウェアバージョン

ファームウェアのバージョンを表示します。

### 4. システムユーティリティメニューを終了

FXツマミを押して、システムユーティリティメニューを終了します。

## ファームウェア更新

Mixarsは製品の改善を継続し、新しいファームウェアをリリースすることでバグを修正します。

Mixars Webサイトから新しいファームウェアおよびファームウェア更新ソフトウェアツールをダウンロードできます。

(<http://www.mixars.com>)

### ■ファームウェアの更新手順：

1. Mixars Webサイトからファームウェア更新ツールと最新のファームウェアをダウンロードします。
2. USBケーブルをコンピューターに接続します。
3. FX CUEおよびTAPボタンを押したままにして、電源を入れます。「ファームウェアの更新」が表示されます。
4. ファームウェア更新ソフトウェアを開き、ファームウェア更新ファイルを見つけます。
5. 画面の指示に従ってファームウェアの更新を開始し、更新完了まで待ちます。
6. ファームウェアの更新後、QUATTROの電源を入れ直します。

## 仕様

### 1. 主要部分

電源 AC	100-240V 50Hz/60Hz
寸法	320 (W) x 362 (D) x 107 (H) mm
消費電力	20W
重量	5.35Kg
AUDIO CARD	24bit / 48kHz

### 2. 標準テスト条件

周囲温度	23 +/- 2 度
相対湿度	65% +/- 5%

注：測定は5度から35度と、湿度45%から85%の間で実行。

### 3. 入力/出カインピーダンスと感度 (1KHzの入力で、MIC / AUX、TRIM、MASTERが最大の場合)

#### 3-1. 入力インピーダンスと基準入力レベル：

LINE:	47K $\Omega$ /-14dBV (200mV)
PHONO:	47K $\Omega$ /-50dBV (3.16mV)
MIC :	5K $\Omega$ /-54dBV (2mV)
RETURN:	47K $\Omega$ /-20dBV (100mV)
USB	-12dBFS

#### 3-2. アウトプット・インピーダンスと基準出力レベル：

MASTER (XLR) :	600 OHM / 0dBV (1V) $\pm$ 2dB (Signal to Signal 600 ohm)
BOOTH:	600 OHM / 0dBV (1V) $\pm$ 2dB (Signal to Signal 600 ohm)
MASTER (RCA) :	1K OHM / 0dBV (1V) $\pm$ 1dB (load=100K ohm)
RECORD:	1K OHM / -9dBV (355mV) $\pm$ 1dB (load=100K ohm)
SEND:	1K OHM / -14dBV (200mV) $\pm$ 1dB (load=100K ohm)
PHONE:	32 OHM / -3dBV (708mV) $\pm$ 1dB (load=32 ohm)

4. 最大ゲイン：(EQフラット、リファレンス入力レベル、最大ゲイン)

MASTER (XLR)、BOOTH OUTPUT:

LINE : +14dB (AT 600Ω) ± 1dB  
PHONO : +50dB (AT 600Ω) ± 2dB  
MIC : +54dB (AT 600Ω) ± 2dB  
RETURN: +20dB (AT 600Ω) ± 1dB

MASTER (RCA) OUTPUT:

LINE : +14dB (AT 100KΩ) ± 1dB  
PHONO : +50dB (AT 100KΩ) ± 2dB  
MIC : +54dB (AT 100KΩ) ± 2dB  
RETURN: +20dB (AT 600Ω) ± 1dB

RECORD OUTPUT:

LINE : +5dB (AT 100KΩ) ± 1dB  
PHONO : +41dB (AT 100KΩ) ± 2dB  
MIC : +45dB (AT 100KΩ) ± 2dB  
RETURN: +11dB (AT 600Ω) ± 1dB

SEND OUTPUT:

LINE : +0dB (AT 100KΩ) ± 1dB  
PHONO : +36dB (AT 100KΩ) ± 2dB  
MIC : +40dB (AT 100KΩ) ± 2dB

5. 最大入力:(EQフラット、MIC、TRIM、MASTERツマミを9時方向、入力1KHzレベルの調整A-w / 20KHz LPFで1% T.H.D以下のレベルを出力する)

LINE:	MORE THAN +15dBV	THD<1%
RETURN:	MORE THAN +9dBV	THD<1%
PHONO:	MORE THAN -21dBV	THD<1%
MIC:	MORE THAN -25dBV	THD<1%

6. 最大出力:(EQフラット、MIC、TRIM、MASTERツマミを9時方向、入力1KHzレベルの調整A-w / 20KHz LPFで1% T.H.D以下のレベルを出力する)

MASTER (XLR) :	MORE THAN +17dBV	LOAD=600Ω	THD<1%
BOOTH:	MORE THAN +17dBV	LOAD=600Ω	THD<1%
MASTER (RCA) :	MORE THAN +17dBV	LOAD=100KΩ	THD<1%
RECORD:	MORE THAN +8 dBV	LOAD=100KΩ	THD<1%
SEND:	MORE THAN +3dBV	LOAD=100KΩ	THD<1%
PHONE:	MORE THAN +4dBV	LOAD=32Ω	THD<1%

7. 周波数応答：(EQフラット、-60dBのフォノ/その他のリファレンス入力レベル、MIC、TRIM、MASTERは最大。)

LINE: 20 - 20KHz +2/-3dB  
MIC: 20 - 20KHz +2/-3dB  
PHONO: 20 - 20KHz +2/-3dB  
USB: 20 - 20KHz (48K/24b-1KHz、20Hz、20KHz. WAV) +2/-3dB

8. THD + N：(1KHz入力、MIC、MASTERツマミ、12時方向、A-w/20KHz LPF)

LINE : 0.01 % AT 0dB INPUT  
RETURN : 0.01 % AT 0dB INPUT  
PHONO : 0.02 % AT -36dB INPUT  
MIC : 0.03 % AT -40dB INPUT

9. S/N比：(1KHz入力、MIC / AUX、TRIM、MASTER12時方向、A-w / 20KHz LPF、無信号時の入力ショート)

LINE : 81dB AT 0dB INPUT  
RETURN : 81dB AT 0dB INPUT  
PHONO : 81dB AT -36dB INPUT  
MIC : 74dB AT -40dB INPUT

10. クロストーク：(1KHz入力、MIC / AUX、TRIM、MASTER12時方向、A-w / 20KHz LPF、無信号時の入力ショート)

LINE: MORE THAN 81dB @ EACH CHANNEL INPUT AT 0dB INPUT  
PHONO: MORE THAN 81dB @ EACH CHANNEL INPUT AT -36dB INPUT

11. L&Rチャンネルの分離：(1KHz入力、MIC / AUX、TRIM、MASTER12時方向、A-w / 20KHz LPF、無信号時の入力ショート)

LINE: MORE THAN 81dB @BETWEEN L AND R CHANNEL AT 0dB INPUT  
PHONO: MORE THAN 81dB @BETWEEN L AND R CHANNEL AT -36dB INPUT

**12. イコライザーレスポンス：（基準入力レベル、MIC / AUX、TRIM、MASTER 最大、20KHz LPF）**

**LINE:**

- (1) Low Band: (Low Band center frequency is 70Hz )  
Maximum level: +12 ± 1dB (at 70Hz)  
Minimum level: -25 ± 1dB (at 70Hz)
- (2) Middle Band: (Middle Band center frequency is 1KHz )  
Maximum level: +12 ± 1dB (at 1KHz)  
Minimum level: -25 ± 1dB (at 1KHz)
- (3) High Band: (Hi Band center frequency is 13KHz )  
Maximum level: +12 ± 1dB (at 13KHz)  
Minimum level: -25 ± 1dB (at 13KHz)

**MIC:**

- Hi: -28dB ± 2dB AT 100Hz  
Low: -28dB ± 2dB AT 10KHz

**13. フェーダーキル：（0dB 1KHz 入力レベル、TRIM、MASTER12 時方向、Aw/ 20KHz LPF でマイク SW オフ）**

- Channel Fader: MORE THAN 91dB AT 1KHz  
Cross Fader: MORE THAN 91dB AT 1KHz

**14. レベル差 L&R：（1KHz 基準入力レベル、TRIM、MASTER 最大、AW / 20KHz LPF）**

- LINE: ±1dB  
PHONO: ±1.5dB

**15. その他**

- (1) 仕様は、事前の交渉により改善される場合があります。  
(2) 部品は仕様の範囲内で改善される場合があります。



## 保証書

お買い上げ日から保証期間内（1年）に故障が発生した場合は、修理または交換を無料で行います。  
本書を添えてお買い上げの販売店または輸入代理店までご連絡ください。

お買い上げ日
年 月 日

シリアル No.
----------

お名前
ご住所 〒 -
お電話番号

販売店印
------

**保証規定**

- 保証期間内でも以下の場合は有償修理となります。
  - 本保証書のご提示が無い場合
  - 保証書を紛失した場合、また保証書の字句を訂正している場合。
  - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害、不当な修理や改造などによる故障および損傷。
  - 風水害、地震、火災、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障、焼損、損傷の場合。
  - お買い上げ後における運搬、移動時の落下、取り扱いまたは組み立てが適当でないために生じた故障および破損。
  - 譲渡されたお品物に関しましては保証対象外となりますので予めご了承ください。
- この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 日本国外でのご使用の場合は保証対象外とさせていただきます。

輸入代理店 オタイオーディオ株式会社  
〒481-0032 愛知県北名古屋市 弥勒寺西 1 丁目 127  
TEL: 0568-48-1610 / FAX: 0568-26-7110